架空20席の受付表・記入例

2026/10/10 13:15時点、日本時間。申込A001の代表者R001は参加しません。

申込ID	参加者ID	券ID	券種	座席	有効状態	入退場時刻	受付端末	照合状態
A001	P001	T001	一般	S01	有効	12:50 初回入場 12:55 退場 13:00 再入場	D01	照合済み
A001	P002	T002	一般	S02	有効	13:02 初回入場	D01	照合済み
A001	P003	T003	一般	S03	無効	入場なし	—	取消確認済み

S03は旧割当で、現在は販売可能です。T002は13:02にD01で入場。13:15の復旧照合で入場行を追加しません。

日時	対象	処理・記録	確認後の状態
10/8 10:00	申込A001	代表者R001が3人分申込み	3券有効・3席確保・残席17
10/9 16:00	券T003	1人分の取消を承認・券を無効化	席は解除確認まで保留
10/9 16:05	席S03	座席担当が販売可能へ戻す	有効2券・確保2席・残席18
10/10 12:50	T001 / L001	D01で初回入場	来場1人・在場1人
10/10 12:55	T001 / L002	D01で退場	来場1人・在場0人
10/10 13:00	T001 / L003	D01で再入場	来場1人・在場1人
10/10 13:01	D02	通信断。D02を停止し、通信できるD01へ案内	D02の未送信記録なしを確認
10/10 13:02	T002 / L004	D01で有効券・未入場を確認し通常受付	来場2人・在場2人
10/10 13:15	D01・D02	D02復旧後、C01が両端末の記録を照合	来場2人・在場2人・残席18

最終：有効券2枚 / 残席18席 / 実来場2人 / 在場2人 / 再入場延べ1回。
参照：Gettii https://www.gettii.jp/（仕様確認2026-09-15）。ID・数値・運用は架空例です。

運用確認チェック・記入例

返金と名簿の保管条件は未完です。各項目の確認結果を、イベント全体の完了と混同しません。

段階	確認すること	担当	確認結果	確認時刻・根拠
事前	申込者R001と参加者P001〜P003を区別した	事務局C01	済	10/8 10:00・A001は3人分、代表者自身は参加しない
事前	20席の利用可否・券種枠・保留枠を確認した	座席担当C02	済	S01〜S20、一般20、利用不可・招待・仮押さえは0
取消	T003を無効にし、S03の席解放を別に確認した	事務局C01 / 座席担当C02	済	10/9 16:00無効化・16:05席解放、C001/C002
取消	返金条件・返金処理を入場可否と別に確認する	事務局C01	未完	T003は無効。返金は未処理。返金完了を意味しない
開場前	端末の時計と最新名簿・取消情報をそろえた	受付責任者C01	済	10/10 12:40、名簿v3、D01/D02とも日本時間
受付	初回入場・退場・再入場を別の履歴として記録した	受付担当C01	済	L001/L002/L003。再入場で席や実来場者を増やさない
通信断	通信できるD01へ集約し、D02の未送信履歴がないことを確認した	受付責任者C01	済	13:01・D02を停止、D01で最新履歴を参照
通信断	全端末が通信できない場合の仮入場と現地人数の扱いを確認する	受付担当C03	対象外	本例はD01で通常受付。全端末の通信断時は別途、履歴集約・仮入場の手順を確認
復旧後	端末間の同券履歴と原記録を責任者が照合した	受付責任者C01	済	13:15・C005で両端末の記録を照合。重複・未反映なし
復旧後	残席・実来場者・在場者を別々に照合した	受付責任者C01	済	13:15・残席18、実来場2、在場2、再入場延べ1
運用条件	QRの所持と本人確認を同一視していない	主催責任者C01	済	本例は本人確認の実証なし。必要な確認方法と譲渡条件は別途設定
終了後	名簿の閲覧者・保管期限・回収方法を決める	主催事務局	未完	実運用前に記入。IDだけの本例に実在者の情報は含まない

全端末の通信断時は、最新の取消情報と停止直前までの全端末の履歴を集約します。判断できない券は確認待ちへ。仮入場者も現地人数に含めます。

券別受付表・空欄版

開催名：_____ 開催日：_____ 担当：_____

1券1行。取消券も消さず、席の現在状態は座席台帳で管理します。複数回の入退場はExcelの履歴表へ記録します。

申込ID	参加者ID	券ID	券種	座席	有効状態	入退場時刻	受付端末	照合状態

集計時点：_____ 有効券：____枚 販売残席：____席 実来場：____人 在場：____人
未照合履歴は人数とは限りません。仮入場者も現地の定員確認に含め、返金・本人確認は別に管理します。

運用確認チェック・空欄版

開催名：＿＿＿＿＿＿＿＿ 責任者：＿＿＿＿＿＿＿＿ 確認日：＿＿＿＿＿＿＿＿

段階	確認すること	担当	確認結果	確認時刻・根拠
事前	申込者と参加者・券IDを分けた			
事前	利用可能席・券種枠・保留枠を確認した			
取消	対象券の無効化と席解放を別に確認した			
取消	返金条件・処理を入場可否とは別に確認した			
開場前	端末の時計・名簿版・取消情報をそろえた			
受付	初回入場・退場・再入場を別履歴にした			
通信断	通信可能な端末への集約と、停止端末の未送信履歴を確認した			
通信断	全端末の通信断時は全履歴を集約し、仮入場者も現地人数に含めた			
復旧後	端末間の同券履歴と原記録を責任者が照合した			
復旧後	残席・実来場者・在場者を別々に照合した			
運用条件	QR所持と本人確認を分け、譲渡・再発行条件を決めた			
終了後	名簿の閲覧者・保管期限・回収方法を決めた			

結果は「済 / 未完 / 保留 / 対象外」。未完・保留の項目は担当と次の作業を記録します。